

ごみ減量化・資源化の取り組みと目安について

1. 生ごみ処理機の活用

- 人口（世帯人数）：257,099 人（2.094 人/世帯）
- 世帯数：123,659 世帯
- 可燃ごみ量：29,235t
- 可燃ごみに含まれる厨芥類の割合（ごみ組成分析より）：51.79%
- 生ごみ処理容器補助件数（平成 27 年度）：68 件
- 市民アンケートの結果から、「生ごみ処理機などを使用し、減量・堆肥化している」について「⑤まったくしていない」の割合は、74.8%

現在、「生ごみ処理機」について「⑤まったくしていない」74.8%のうち、5%の世帯が取り組むと仮定すると、

燃やすごみ（厨芥類）の原単位は

$$29,235 \text{ t} \times 0.5179 \times 10^6 \div 366 \div 257,099 \times 0.5 = 80.5 \text{ g/人日}$$

（厨芥類の 50%を堆肥化できると想定）

取り組む世帯を人口に換算すると

$$123,659 \times 0.748 \times 0.05 \times 2.094 = 9,684 \text{ 人}$$

削減量は

$$80.5 \div 10^6 \times 366 \times 9,684 = 285 \text{ t}$$

市民 1 人 1 日あたりに換算すると

$$285 \times 10^6 \div 366 \div 257,099 = 3.0 \text{ g/人・日}$$

2. 生ごみの水切り

- 可燃ごみ量：29,235t
- 可燃ごみに含まれる厨芥類の割合（ごみ組成分析より）：51.79%
- 他地域の事例から、水切りに取り組むことで削減できる水分は平均 12%
- 市民アンケートの結果から、「水切り」について「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」の割合を合わせると、10.8%

現在、「水切り」について「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」人の半分が取り組むと仮定すると、

燃やすごみ中の水分削減量は

$$29,235 \times 0.5179 \times 0.12 \times 0.054 = 98.1 \text{ t}$$

市民 1 人 1 日あたりに換算すると

$$98.1 \div 257,099 \div 366 \times 10^6 = 1.1 \text{ g/人・日}$$

3. 食品ロス（食べ残し等）の削減

- 可燃ごみ量：29,235t
- 可燃ごみに含まれる厨芥類の割合（ごみ組成分析より）：51.79%
- 食品ロス統計調査（平成26年度、農林水産省）の結果から、食品ロス率（食品使用料に占める食品ロス量の割合）は3.7%
- 市民アンケートの結果から、「食品ロスについて、今後はできることをやっていきたい」の割合は、50.7%

「食品ロスについて、今後はできることをやっていきたい」人の半分が取り組むと仮定すると、

燃やすごみ中の食品ロス削減量は

$$29,235 \times 0.5179 \times 0.037 \times 0.253 = 142.0 \text{ t}$$

市民1人1日あたりに換算すると

$$142.0 \div 257,099 \div 366 \times 10^6 = 1.5 \text{ g/人・日}$$

4. 詰め替え品の利用促進

- シャンプー等の詰め替えによる容器の削減量※：42.4g
- 府中市の世帯人数：2,094人/世帯
- 市民アンケートの結果から、「詰め替えタイプや繰り返し使用できる商品を選んでいる」について、「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」の割合を合わせると、16.0%

現在、「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」人が詰め替え商品を選び（1か月で1世帯につき4つ）、プラスチックの削減に取り組むと仮定すると、

商品1つの削減量は

$$42.4 \times 4 = 170 \text{ g}$$

1日1人あたりに換算すると

$$170 \div 31 \div 2,094 = 2.6 \text{ g/人・日}$$

$$2.6 \times 0.16 = 0.4 \text{ g/人・日}$$

※ 『3R行動見える化ツール』に係る3R行動原単位の算出方法（平成28年3月環境省）

5. マイバックの持参徹底

○レジ袋1枚の削減量※：6.8g

○市民アンケートの結果から、「マイバッグを持参し、レジ袋をもらわない」について、「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」の割合を合わせると、34.7%

現在、「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」人がレジ袋を断り（1週間で3回）、プラスチックの削減に取り組むと仮定すると、

1週間で1人が3枚断った場合のレジ袋の削減量は

$$6.8 \times 3 = 20.4\text{g}$$

1日1人あたりに換算すると

$$20.4 \div 7 = 2.9\text{g/人} \cdot \text{日}$$

$$2.9 \times 0.347 = 1.0\text{g/人} \cdot \text{日}$$

※『3R行動見える化ツール』に係る3R行動原単位の算出方法（平成28年3月環境省）

6. 店頭回収の利用促進

○トレイ1枚の削減量※：3.3g

○市民アンケートの結果から、「食品トレイや牛乳パック、ペットボトルなどの資源品は、できるだけ販売店へ返却している」について、「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」の割合を合わせると、56.5%

現在、「③時々している/④ほとんどしていない/⑤まったくしていない」人がトレイを店頭回収に持参し（1週間で3枚）、プラスチックの削減に取り組むと仮定すると、

1週間で1人が3枚断った場合のレジ袋の削減量は

$$3.3\text{g} \times 3 = 9.9\text{g}$$

1日1人あたりに換算すると

$$9.9 \div 7 = 1.4\text{g/人} \cdot \text{日}$$

$$1.4 \times 0.565 = 0.8\text{g/人} \cdot \text{日}$$

※『3R行動見える化ツール』に係る3R行動原単位の算出方法（平成28年3月環境省）